

事業名：祭り振興協議会支援事業



Q1 この仕事は、誰のために、何をしていますか？

「さつき祭り、やさ祭り、神明市」は、それぞれさつき祭り振興協議会、やさ祭り振興協議会そして神明市協賛会が開催しています。
お祭りを訪れるすべての人のために、三原市を代表するこれらの祭りが今後も持続し発展できるよう、各祭りの開催団体に対し、その事業費の一部を補助しています。



Q2 この仕事に、私たちの税金がどのように使われていますか？

お祭りを開催するにあたっては、会場の設営・撤去、当日の交通警備、宣伝広報などに多くの費用がかかります。その費用の一部について補助金を出し、開催を支えるために税金が使われています。



Q3 この仕事が行われることによるメリットは？

やさ踊りや神明市などの古くから続く文化を継承するとともに、市民自らが祭りに参加することで郷土愛の醸成に貢献しています。また、お祭りに三原市内外から多くの人を訪れることで賑わいが生み出され、交流の場となるとともに、経済効果につながっています。



Q4 この仕事はいつから始まり、また、見直しなどを行いましたか？

平成 17 年の合併から継続して実施しています。お祭りの規模や状況を鑑み、平成 26 年度と平成 28 年度に補助金額の見直しを行っています。



事業シート（概要説明書）

予算事業名	さつき祭り振興協議会支援事業			事業開始年度	H17													
上位施策事業名	3-3-1 地域資源を活かした観光6次産業化の推進			担当局・部名	経済部													
根拠法令等	三原市祭り関係振興協議会事業費補助金交付要綱			担当課・係名	観光課													
事務区分	■自治事務 □法定受託事務			作成責任者	清田													
実施の背景	夏のやっさ祭り、冬の神明市に並ぶ祭りを目指し、市花であるさつきをテーマに平成4年(1992年)に第1回さつき祭りが開催された。宮浦区画整理事業の完了を機に、地域のつながりや住みよい町づくりを目的に始まった地域に根ざす祭りである。																	
目的 (何をどうしたいのか)	ステージイベント、バザー、パレードや喰道楽そしてさつきの展示・販売といった様々な催しにより老若男女が楽しめる地域に根ざしたお祭りとして、多くの人々が交流する場としていく。																	
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	全市民及び観光客（対象者数は令和3年3月末時点数値）			対象者数（全住民に対する割合）													
					91,317	人	(100 %)											
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者： ） <input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔 <input checked="" type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接〕（補助先：さつき祭り振興協議会 実施主体：さつき祭り実行委員会） <input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）																
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容（箇条書き）	事業費		活動指標													
		会場設営関係費(ステージ設営, 撤去費用等)	2,491	千円	左記の事業内容及び事業費については、さつき祭りに係る全体の内容を記載。													
	総務関係費(Tシャツ作成, 傷害保険料等)	969	千円															
	広報関係費(配布チラシ作成, ホームページ費等)	927	千円															
	交通関係費(警備委託, シャトルバス運行)	797	千円															
	その他(ビンゴゲーム経費, さつき苗購入・さつき展示, 周年行事基金, 繰越金等)	1,702	千円															
関連事業 (同一目的事業等)																		
コスト			R3年度（予算）		R2年度（決算見込み）		H31年度（決算）		H30年度（決算）									
	事業費合計		500	千円	0	千円	500	千円	500	千円								
	事業費内訳 (令和2年度分)		補助金 500千円 補助対象経費 ①会場設営関係費 ②総務関係費 ③広報関係費 ④交通関係費 ⑤イベント関係費 ⑥さつき関係費 ⑦その他（周年行事引当・繰越金）															
	人件費	担当正職員	0.15	人	900	千円	0.10	人	600	千円	0.15	人	900	千円	0.15	人	900	千円
		臨時職員等	0	人	0	千円		人		千円		人		千円		人		千円
		人件費合計	0.15	人	900	千円	0.10	人	600	千円	0.15	人	900	千円	0.15	人	900	千円
総事業費				1,400	千円			600	千円			1,400	千円			1,400	千円	
財源内訳		国県支出金		0	千円	国県支出金の内容		0	千円	0		千円	0		千円	0		千円
		地方債		0	千円	0		千円	0		千円	0		千円	0		千円	
		その他特財		0	千円	0		千円	0		千円	0		千円	0		千円	
		その他特財の内容																
		一般財源		1,400	千円	600		千円	1,400		千円	1,400		千円	1,400		千円	
財源合計		1,400		千円	600		千円	1,400		千円	1,400		千円	1,400		千円		

事業シート（概要説明書）

予算事業名		さつき祭り振興協議会支援事業			事業開始年度	H17	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	R2年度	H31年度	H30年度
		ポスター作成		枚	中止	300	300
		協賛広告料		千円	中止	3,446	3,326
		出店数		店舗	中止	42	49
	単位当たりコスト	総事業費	/	来客者数	円	中止	16.5
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	地域のつながりや住みよい町づくりのため地域密着型の祭りとして始まった三原さつき祭りは、宮浦地区のみならず三原市四大祭りの1つとなるまで発展している。さつき祭りを交流の場としていくことを目標とし、その指標として、来客者数を設定した。					
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	R2年度	H31年度	H30年度
		さつき祭り来客者数		人	中止	85,000/98,000	77,000/98,000
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	<p>平成4年（1992年）に始まった「三原さつき祭り」は、本年まで30回の開催を重ね、地元町内会によるバザーの出店や子どもパレードなど、地域に根ざした祭りに成長し、本市を代表する祭りとして定着している。三原さつき祭りは、賑わいの創出に寄与していることから、補助金の交付は継続していく。</p> <p>近年、主たる運営を担う組織の会員数が減少しており、担い手が不足しているため、さつき祭り振興協議会関係組織として県立広島大学自治会を招き協力体制をとるなど対策を試行中である。また、祭りの内容にマンネリ化が見受けられることが今後の課題である。</p>						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	<p>三原市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつき祭り 補助金 500,000円 (H31来客者数 85,000人) ・やっさ祭り 補助金 6,800,000円 (H31来客者数 400,000人) ・三原神明市 補助金 1,400,000円 (H31来客者数 397,000人) <p>尾道市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾道みなと祭 補助金 9,000,000円 (H31来客者数 330,000人) ・住吉花火まつり 補助金 2,450,000円 (H31来客者数 300,000人) <p>竹原市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たけ祭り 補助金 1,000,000円 (H31来客者数 15,000人) 						
特記事項							

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)

予算事業名	さつき祭り振興協議会支援事業		事業開始年度	H17
団体名	さつき祭り振興協議会			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	三原市補助金等交付規則 三原市祭り関係振興協議会事業費補助金交付要綱			
当該事業の団体における収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	千円	会場設営関係費	2,491 千円
	県からの財政支出金	千円	総務関係費	969 千円
	市町村からの財政支出金	千円	広報関係費	927 千円
	委託料・指定管理料	千円	交通関係費	797 千円
	補助金	500 千円	イベント関係費	719 千円
	その他	千円	その他(周年行事引当・繰越金・さつき関係費)	983 千円
	その他(協賛金・出店料・リース料・補助金等)	6,386 千円		千円
総計	6,886 千円	総計	6,886 千円	

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	さつきまつり振興協議会 名誉会長 三原市長, 会長1名, 副会長3名									
	12の下部組織 ①理事会 ②財務委員会 ③事務局(三原商工会議所) ④三原さつき祭り実行委員会 ⑤実行委員会事務局 ⑥広報委員会 ⑦ステージ委員会 ⑧パレード会場交通委員会 ⑨イベント委員会 ⑩喰道楽委員会 ⑪企業展委員会 ⑫県立大学学生自治会									
	資本金	千円	役員 職員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	市出資金	千円		役員	0	0	44	0	2	0
出資比率	%	職員		0	0	1	0			
団体全体の収支状況	収入					支出				
	国からの財政支出金	千円			会場設営関係費	2,491 千円				
	県からの財政支出金	千円			総務関係費	969 千円				
	市町村からの財政支出金	千円			広報関係費	927 千円				
	委託料・指定管理料	千円			交通関係費	797 千円				
	補助金	500 千円			イベント関係費	719 千円				
	その他	千円			その他(周年行事引当・繰越金・さつき関係費)	983 千円				
	その他(協賛金・出店料・リース料・補助金等)	6,386 千円			総計	6,886 千円				
総計	6,886 千円			収支差	0 千円					
特記事項										
財務諸表URL										

事業シート（概要説明書）

予算事業名	やっさ祭り振興協議会支援事業			事業開始年度	H17												
上位施策事業名	3-3-1 地域資源を活かした観光6次産業化の推進			担当局・部名	経済部												
根拠法令等	三原市祭り関係振興協議会事業費補助金交付要綱			担当課・係名	観光課												
事務区分	■自治事務 □法定受託事務			作成責任者	清田												
実施の背景	やっさ踊りを中心にした祭り行事は、かつて「花火大会」、「やっさ踊り」及び「夏祭り子どもやっさ」とあり、それぞれ商工会議所、観光協会、商栄会の三団体が開催していた。昭和51年（1976年）にこれら三行事の主催団体を一本化し、より盛大にしようと開催されたのが現在の「三原やっさ祭り」のはじまりである。																
目的 (何をどうしたいのか)	三原城築城時の祝いの踊りが発祥とされ、大阪万博への出演も果たした伝統あるやっさ踊りに市民自ら参加し継承することで郷土愛を醸成し、市内外からの誘客により、祭りを契機とした周遊促進を図る。																
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	全市民及び観光客（対象者数は令和3年3月末時点数値）			対象者数（全住民に対する割合）												
					91,317	人	(100 %)										
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者： ） <input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔 <input checked="" type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接〕（補助先： やっさ祭り振興協議会 実施主体： やっさ祭り実行委員会） <input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）															
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容（箇条書き）	事業費	活動指標	左記の事業内容及び事業費については、やっさ祭りに係る全体的内容を記載。												
		会場設営費（メインステージ設営、撤去費等）	9,798 千円														
	花火関係費（花火打上費用、警備費用）	6,893 千円															
	総務関係費（名刺印刷、コピー代、傷害保険ホームページサーバー代金等）	4,470 千円															
	安全対策費（警備委託費用、安全看板費用等）	2,834 千円															
	その他（ガイドチラシ作成、ポケットティッシュ作成、ステージイベント運営委託、協賛行事メダル賞状等）	11,991 千円															
関連事業 (同一目的事業等)																	
コスト		R3年度（予算）		R2年度（決算見込み）		H31年度（決算）		H30年度（決算）									
	事業費合計	6,800	千円	0	千円	6,800	千円	6,800	千円								
	事業費内訳 (令和2年度分)	補助金 6,800千円 補助対象経費 ①会場設営費 ②花火関係費 ③総務関係費 ④安全対策費 ⑤宣伝広報費 ⑥ステージ関係費 ⑦その他															
	人件費	0.35	人	2,100	千円	0.15	人	900	千円	0.35	人	2,100	千円	0.35	人	2,100	千円
	臨時職員等	0	人	0	千円		人		千円		人		千円		人		千円
	人件費合計	0.35	人	2,100	千円	0.15	人	900	千円	0.35	人	2,100	千円	0.35	人	2,100	千円
総事業費		8,900	千円		900	千円		8,900	千円		8,900	千円		8,900	千円		
財源 内訳	国県支出金	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円								
		国県支出金の内容															
	地方債	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円								
	その他特財	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円								
		その他特財の内容															
一般財源		8,900	千円		900	千円		8,900	千円		8,900	千円		8,900	千円		
財源合計		8,900	千円		900	千円		8,900	千円		8,900	千円		8,900	千円		

事業シート（概要説明書）

予算事業名		やっさ祭り振興協議会支援事業			事業開始年度	H17	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	R2年度	H31年度	H30年度(11月)
		ポスター作成		枚	中止	400	400
		やっさ踊り参加チーム		チーム	中止	大人・創作 86 子ども 8	大人・創作 38 子ども 4
		協賛金		千円	中止	20,059	19,695
		出店数		店舗	中止	120	90
	単位当たりコスト	総事業費	/	来客者数	円	中止	22.3
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	花火大会、各やっさ踊りの行事を一本化し、より盛大な祭りにすることが開催の背景にあることから、多くの方にお越しいただき盛り上げていくことを目標とし、その指標として来客者数を設定した。また、やっさ踊りに市民が参加することで文化を継承し郷土愛を醸成することを目標とし、指標としてやっさ踊り参加チーム数を設定した。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	R2年度	H31年度	H30年度(11月)
		やっさ祭り来客者数		人	中止	400,000/440,000	250,000/430,000
		やっさ踊り参加チーム		チーム	中止	大人・創作 86 子ども 8	大人・創作 38 子ども 4
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>三原やっさ祭りは、三原神明市と並ぶ市内最大級の祭りである。やっさ踊りは、市民が参加できる大規模な祭り行事であり、子どもから大人まで多くの市民チームが参加し、夏の賑わい創出や市内外からの誘客促進に寄与していることから、補助金の交付は継続していく。</p> <p>近年、主たる運営を担う組織の会員数が減少しており、担い手が不足している。また、祭り開催までの関係機関との事前協議や当日の運営などの事業量は拡大する一方である。こうした状況下での開催準備や運営が今後の課題となっている。そこで運営主体であるやっさ祭り実行委員会と三原市で協議し、各公的機関や団体へ許認可申請が必要となる安全対策委員会を三原市へ移管する手続をすすめるなど対策を試行している。</p>						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>三原市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつき祭り 補助金 500,000円 (H31来客者数 85,000人) ・やっさ祭り 補助金 6,800,000円 (H31来客者数 400,000人) ・三原神明市 補助金 1,400,000円 (H31来客者数 397,000人) <p>尾道市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾道みなと祭 補助金 9,000,000円 (H31来客者数 330,000人) ・住吉花火まつり 補助金 2,450,000円 (H31来客者数 300,000人) <p>竹原市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たけ祭り 補助金 1,000,000円 (H31来客者数 15,000人) 						
特記事項							

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)

予算事業名	やっさ祭り振興協議会支援事業		事業開始年度	H17
団体名	やっさ祭り振興協議会			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	三原市補助金等交付規則 三原市祭り関係振興協議会事業費補助金交付要綱			
当該事業の団体における収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	千円	会場設営費	9,798 千円
	県からの財政支出金	千円	花火関係費	6,893 千円
	市町村からの財政支出金	千円	総務関係費	4,470 千円
	委託料・指定管理料	千円	安全対策費	2,834 千円
	補助金	6,800 千円	宣伝広報費	2,822 千円
	その他	千円	その他(ステージ関係費・協賛行事等)	9,169 千円
	その他(協賛金・広告収入・イベント収入・補助金等)	29,186 千円		千円
総計	35,986 千円	総計	35,986 千円	

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	やっさ祭り振興協議会 名誉会長 三原市長、会長1名、副会長5名 6の下部組織 ①理事会 ②評議員会 ③財務委員会 ④事務局 ⑤三原やっさ祭り実行委員会 ⑥三原やっさ太鼓育成会 三原やっさ祭り実行委員会内に10の委員会等を設置 ①事務局 ②会場設営委員会 ③やっさサポーター委員会 ④子どもやっさ委員会 ⑤やっさ踊り委員会 ⑥安全対策委員会 ⑦ステージ委員会 ⑧人にやさしい祭り委員会 ⑨宣伝広報委員会 ⑩花火委員会										
	資本金		千円	役員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	市出資金	千円	役員		0	0	84	0	3	0	
	出資比率	%	職員		0	0	1	0			
団体全体の収支状況	収入				支出						
	国からの財政支出金	0 千円		会場設営費	9,798 千円						
	県からの財政支出金	0 千円		花火関係費	6,893 千円						
	市町村からの財政支出金	6,800 千円		総務関係費	4,470 千円						
	委託料・指定管理料	0 千円		安全対策費	2,834 千円						
	補助金	6,800 千円		宣伝広報費	2,822 千円						
	その他	0 千円		その他(ステージ関係費・協賛行事等)	9,169 千円						
	その他(協賛金・広告収入・イベント収入・補助金等)	29,186 千円		総計	35,986 千円						
総計	35,986 千円		収支差	0 千円							
特記事項											
財務諸表URL											

事業シート（概要説明書）

予算事業名	三原神明市協賛会支援事業			事業開始年度	H17												
上位施策事業名	3-3-1 地域資源を活かした観光6次産業化の推進			担当局・部名	経済部												
根拠法令等	三原市祭り関係振興協議会事業費補助金交付要綱			担当課・係名	観光課												
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			作成責任者	清田												
実施の背景	「神明祭」とは、伊勢神宮を祀る祭りのことをいう。この信仰が全国に広まったのは室町末期で、三原もその頃、地方の港町として栄えつつあり、当時、9つの町組が寄り合って始めたのが祭りの起こりといわれる。その遺風は備後地域の春祭りのさきがけとして、現在まで受け継がれ、三原神明市は毎年30万人以上が訪れる西日本有数の縁日となった。																
目的 (何をどうしたいのか)	室町末期よりその原型が見られ、備後地方の春の先駆けとして西日本有数の縁日となった神明市の歴史を受け継ぎ、賑わいを創出するとともに、市内外からの誘客により祭りを契機とした周遊促進を図る。																
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	全市民及び観光客（対象者数は令和3年3月末時点数値）			対象者数（全住民に対する割合）												
					91,317	人	(100 %)										
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者： ） <input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔 <input checked="" type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接〕（補助先・実施主体：三原神明市協賛会） <input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）															
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容（箇条書き）	事業費		活動指標												
		委託料（大ダルマ設置撤去、広告看板作成、廃棄物処理、安全警備委託）	3,575	千円	左記の事業内容及び事業費については、三原神明市に係る全体の内容を記載。												
	役務費（保険料、落語コント出演料、運搬費等）	567	千円														
	需用費（工具購入、カラオケ大会賞品、とんど材料費等）	153	千円														
	報償費（アルバイト・パート等）	53	千円														
	その他（クレーン車使用料、カラオケ大会音響設備リース料等）	72	千円														
関連事業 (同一目的事業等)																	
コスト		R3年度（予算）		R2年度（決算見込み）		H31年度（決算）		H30年度（決算）									
	事業費合計	1,400	千円	0	千円	1,400	千円	1,400	千円								
	事業費内訳 (令和2年度分)	補助金 1,400千円 補助対象経費 ①委託料 ②役務費 ③需用費 ④報償費 ⑤使用料賃借料 ⑥負担金交付金 ⑦旅費															
	人件費	0.15	人	900	千円	0.10	人	600	千円	0.15	人	900	千円	0.15	人	900	千円
	総事業費	2,300	千円	600	千円	2,300	千円	2,300	千円								
財源 内訳	国県支出金	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円								
		国県支出金の内容															
	地方債	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円								
	その他特財	700	千円	0	千円	700	千円	700	千円								
		その他特財の内容 東町財産区繰入金															
一般財源	1,600	千円	600	千円	1,600	千円	1,600	千円									
財源合計	2,300	千円	600	千円	2,300	千円	2,300	千円									

事業シート（概要説明書）

予算事業名		三原神明市協賛会支援事業			事業開始年度	H17	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	R2年度	H31年度	H30年度
		ポスター作成		枚	中止	300	300
		露天商手数料		千円	中止	3,050	2,008
		出店数		店舗	中止	506	502
	単位当たりコスト	総事業費	/	来客者数	円	中止	5.8
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	室町末期から祭りの原型がみられ、現在も備後地域の春祭りのさきがけとして発展してきた三原神明市を今後も継続し盛り上げるとともに誘客促進を図ることを目標とし、その指標として来客者数を設定した。					
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	R2年度	H31年度	H30年度
		三原神明市来客者数		人	中止	397,000/350,000	320,100/350,000
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	<p>三原神明市は、三原やっさ祭りとは並ぶ市内最大級の祭りである。三原だるまや植木を含め、500を超える多くの出店が軒を並べ、毎年市内外から30万人以上の観光客が訪れ、備後地方に春を呼ぶ祭りとして親しまれている。また、三原市の公式マスコットキャラクターであるやっさだるまのモチーフでもある日本一の大きさを誇る神明だるまが目玉である。三原神明市は、賑わいの創出や市内外からの誘客促進に寄与していることから、補助金の交付は継続していく。</p> <p>一方、主催団体である神明市協賛会会員の世代交代の鈍化や現役世代の減少等により祭りの事前準備や事後処理における担い手不足が課題となっている。現時点では運営において緊急性のある問題ではないものの、今後持続発展のための課題となっており、学生アルバイトやボランティアなどにより人員不足の補充を試行している。</p>						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	<p>三原市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつき祭り 補助金 500,000円 (H31来客者数 85,000人) ・やっさ祭り 補助金 6,800,000円 (H31来客者数 400,000人) ・三原神明市 補助金 1,400,000円 (H31来客者数 397,000人) <p>尾道市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾道みなと祭 補助金 9,000,000円 (H31来客者数 330,000人) ・住吉花火まつり 補助金 2,450,000円 (H31来客者数 300,000人) <p>竹原市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たけ祭り 補助金 1,000,000円 (H31来客者数 15,000人) 						
特記事項							

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)

予算事業名	三原神明市協賛会支援事業		事業開始年度	H17
団体名	三原神明市協賛会			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	三原市補助金等交付規則 三原市祭り関係振興協議会事業費補助金交付要綱			
当該事業の団体における収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	千円	委託料(廃棄物処理・広告看板・交通警備等)	3,575 千円
	県からの財政支出金	千円	役務費(保険料・郵送費)	567 千円
	市町村からの財政支出金	1,400 千円	需用費(備品費)	153 千円
	委託料・指定管理料	千円	報償費(アルバイト・パート報酬)	53 千円
	補助金	1,400 千円	使用料・賃借料	52 千円
	その他	千円	その他(負担金・交付金・旅費)	20 千円
	その他(協賛金・露天商手数料・雑収入)	3,020 千円		千円
総計	4,420 千円	総計	4,420 千円	

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	三原神明市協賛会 会長1名, 副会長1名									
	6の下部組織 ①役員会(町内会長, 部長, 事務局) ②理事会(全役員) ③安全部 ④とんど部 ⑤露天商部 ⑥事務局									
	資本金	千円	役員 職員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	市出資金	千円		役員	0	0	16	0		0
出資比率	%	職員		0	0	0	0			
団体全体の収支状況	収入				支出					
	国からの財政支出金	千円	委託料(廃棄物処理・広告看板・交通警備等)		3,575 千円					
	県からの財政支出金	千円	役務費(保険料・郵送費)		567 千円					
	市町村からの財政支出金	1,400 千円	需用費(備品費)		153 千円					
	委託料・指定管理料	千円	報償費(アルバイト・パート報酬)		53 千円					
	補助金	1,400 千円	使用料・賃借料		52 千円					
	その他	千円	その他(負担金・交付金・旅費)		20 千円					
	その他(協賛金・露天商手数料・雑収入)	3,020 千円	総計		4,420 千円					
総計	4,420 千円	収支差		0 千円						
特記事項										
財務諸表URL										

